

平成 19 年 度
航 空 旅 客 動 態 調 査
－ 集 計 結 果 －

平成 20 年 12 月

国 土 交 通 省 航 空 局

平成19年度 航空旅客動態調査

－ 集計結果 －

目 次

調査概要

1	調査目的	1
2	調査内容	2
3	調査対象	5
4	調査方法	5
5	調査実施日	5
6	回収状況	5
7	集計内容	7

1. 集計結果（平日）

平日	表 1	OD表（空港間純流動）	1－ 1
平日	表 2	OD表（空港間総流動）	1－ 11
平日	表 3	OD表（県間流動）	1－ 21
平日	表 4	空港別 出発地・目的地・現住所	1－ 25
平日	表 5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	1－157
平日	表 6	OD別 旅行目的	1－159
平日	表 7	OD別 旅行日数	1－165
平日	表 8	OD別 旅行行程	1－173
平日	表 9－1	OD別 利用航空券の種類	1－181

平日	表 9－2	OD別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1－187
平日	表 9－3	路線別	利用航空券の種類	1－192
平日	表 9－4	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1－197
平日	表10	OD別	乗り換え空港	1－203
平日	表11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	1－221
平日	表12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	1－233
平日	表13	出発空港別	アクセス経費	1－237
平日	表14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間	1－241
平日	表15－1		空港間移動の手段	1－245
平日	表15－2		空港間移動の所要時間	1－246
平日	表15－3		空港間移動の経費	1－247

2. 集 計 結 果（ 休 日 ）

休日	表 1	OD表（空港間純流動）	2－ 1
休日	表 2	OD表（空港間総流動）	2－ 11
休日	表 3	OD表（県間流動）	2－ 21
休日	表 4	空港別 出発地・目的地・現住所	2－ 25
休日	表 5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	2－159
休日	表 6	OD別 旅行目的	2－161
休日	表 7	OD別 旅行日数	2－167
休日	表 8	OD別 旅行行程	2－175
休日	表 9－1	OD別 利用航空券の種類	2－183
休日	表 9－2	OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	2－189
休日	表 9－3	路線別 利用航空券の種類	2－194

休日	表 9－4	路線別 利用航空券の種類（{その他割引} の割引率の内訳）	2－199
休日	表10	OD別 乗り換え空港	2－205
休日	表11	出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	2－225
休日	表12	出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数	2－237
休日	表13	出発空港別 アクセス経費	2－241
休日	表14	出発空港別 見送り人数・空港滞留時間	2－245
休日	表15－1	空港間移動の手段	2－249
休日	表15－2	空港間移動の所要時間	2－250
休日	表15－3	空港間移動の経費	2－251

調 査 概 要

1 調査目的

本調査は、我が国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の空港整備のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

本調査は、以下に示す質問から構成されており、それぞれの詳細は、次頁に示す調査票のとおりである。調査内容は、平日用・休日用とも同一とするが、両者を区別するため平日用は黒文字、休日用は青文字で印刷した。

(1) 出発空港

(2) 出 発 地

(3) アクセス実態

① 利用手段

② 所要時間

③ 経 費

④ 空港滞留時間

⑤ 自家用車来港者の駐車場利用の有無

(4) 利用航空券の種類・座席の種類

(5) 目 的 地

① 目 的 地

② 到着空港

③ 乗り継ぎ空港・目的空港

(6) イグレス交通手段

(7) 旅行目的等

① 旅行目的

② 旅行日数・旅程中の日数

③ 旅行行程の相違

④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港

⑤ 自家用車来港者の駐車場利用の有無

⑥ 同行者数

⑦ 見送り人数

(8) 個人属性

① 性 別

② 年 齢

③ 職 業

④ 年 収

⑤ 現 住 所

⑥ 同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

調査票サンプル (2)

問6. 空港から、問5-1で回答した目的地までの間に利用する予定の交通機関についてご記入下さい。

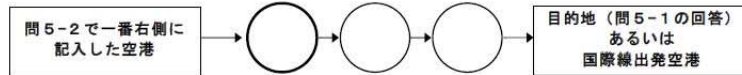
乗り継ぎをされる方は問5-2で一番右側に記入した空港からの交通機関についてご記入下さい。

本日、国際線を利用されるご予定の方へ

※問5-2で一番右側に記入した空港から国際線出発空港までの行程についてお答え下さい。

※本日、現在お乗りになっている飛行機の到着空港で直接国際線に乗り継がれる方は、そのまま問7にお進み下さい。

ご利用予定の交通機関の番号を、空港に近いほうから3つ以内で下の○の中にご記入下さい。



【問6:選択肢】

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------------------|
| 1. 新幹線 | 2. J R特急 (新幹線を除く) | 3. J R在来線 (新幹線・特急除く) |
| 4. 私鉄・地下鉄 | 5. モノレール | 6. 空港直行バス・都市間バス |
| 7. 貸切バス・観光バス | 8. 市内バス・市内電車 | 9. タクシー・ハイヤー |
| 10. 自家用車、社用・公用車 | 11. レンタカー | 12. 船・ボート・クラフト |
| 13. その他 | 14. わからない | |

問7. 今回のご旅行全体についてお答え下さい。

問7-1. ご旅行の主な目的をお答え下さい。 ※修学旅行の方は“2. 観光”とお答え下さい。

- | | | | |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------|--------|
| 1. 仕事
(または、仕事の帰り) | 2. 観光
(または、観光の帰り) | 3. 観光以外の私用・帰省
(または、観光以外の私用・帰省の帰り) | 4. その他 |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------|--------|

問7-2. ご旅行の全体的日数をお答え下さい。

1. 日帰り 2. () 泊 () 日
 -----> 本日の行程は何日目ですか? ご記入下さい。() 日目

問7-3. ご旅行の帰り(または、行き)に、現在と同じ航空路線を利用されますか(されましたか)?

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 利用する(または、利用した) | 2. 他の航空路線を利用する(または、利用した) |
| 3. 他の交通機関を利用する(または、利用した) | 4. 転居・赴任等により片道の旅行 |
| 5. わからない | |

問7-4. 本日の行程について、国際線を利用されますか(または、利用されましたか)?

1. 利用しない 2. これから利用する(または、すでに利用した)
 -----> 国際線に乗る(降りた)際にご利用の空港名をお答え下さい。 () (国際) 空港

《うらにつづきます》

問7-5. 同行者(3才以上)の人数(ご家族以外も含みます)をお答え下さい。

※同行者がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

人

問7-6. 空港までお見送りの方(小学生以上)の人数をお答え下さい。

※お見送りの方がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

人

問8. あなたご自身のことについてお答え下さい。

ご家族連れの代表者の方は、表-1 に同行されているご家族の方に関する事についてもお記入下さい。

性別	1. 男	2. 女	
年齢	1. 14歳以下 5. 30~34歳 9. 50~54歳 13. 70~74歳	2. 15~19歳 6. 35~39歳 10. 55~59歳 14. 75歳以上	3. 20~24歳 7. 40~44歳 11. 60~64歳
職業	1. 役員・管理職 4. 農林・漁業 7. 学生・生徒	2. 会社員 5. 商工・自営業 8. 無職・その他	3. 公務員 6. 自由業
年収(税込み)	1. なし 4. 200~299万円 7. 500~699万円 10. 1,500~1,999万円	2. 100万円未満 5. 300~399万円 8. 700~999万円 11. 2,000万円以上	3. 100~199万円 6. 400~499万円 9. 1,000~1,499万円
現住所	1. 出発地と同じ	2. 目的地と同じ	3. どちらでもない

「3. どちらでもない」とお答えの方は、現住所をご記入下さい。

都道府県	区市郡	区町村
------	-----	-----

現住所が海外の方はお住まいの国名をご記入下さい。-----

表-1 ご家族連れの代表者の方は、下の記入表にご家族の方の性別・年齢・職業・年収を表中の番号でご記入下さい。

	性別	年齢	職業	年収
	1. 男 2. 女	1. 14歳以下 3. 20~24歳 5. 30~34歳 7. 40~44歳 9. 50~54歳 11. 60~64歳 13. 70~74歳	2. 15~19歳 4. 25~29歳 6. 35~39歳 8. 45~49歳 10. 55~59歳 12. 65~69歳 14. 75歳以上	1. 役員・管理職 3. 公務員 5. 商工・自営業 7. 学生・生徒 8. 無職・その他
同行者1				
同行者2				
同行者3				
同行者4				
同行者5				

ご協力ありがとうございました。

のちほど客室乗務員が調査票を受け取りに参りますのでお渡し下さい。

3 調査対象

本調査の対象は、調査実施日に国内航空路線を利用する全航空旅客とする。

4 調査方法

国内航空会社（２２社）の協力を得て、原則として客室乗務員が航空機内で調査票の配布・回収を行うが、所要時間が短い路線の場合、搭乗時に配布し機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席にセットし機内で回収する方法をとっている。

また、客室乗務員が乗務しない路線や、航空機内での実施が困難と思われる路線では、搭乗手続き時に係員が調査票を配布し、搭乗時に回収を行う方法をとっている。

5 調査実施日

本調査の実施日は、平成１９年１１月１１日（日曜日）、同１４日（水曜日）とする。

なお、実施日当日が運航日でない路線・便（曜日運航の路線・便）、及び、天候不良等で調査を実施できなかった便については、翌日（または翌運航日）、同便を対象に調査を実施する。

また日曜日調査については、休日の旅客流動の特性を踏まえるため、調査を実施できない場合、翌週日曜日（１１月１８日、同日も実施できなかった場合は１１月２５日に実施）に実施する。

6 回収状況

調査実施日における航空会社別の航空旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

航空会社別回収結果

航空会社 項 目	平日調査					休日調査				
	提供座席 数 (A) (席／日)	旅客数 (B) (人／日)	搭乗率 (B/A) (%)	回収数 (C) (票)	回収率 (C/B) (%)	提供座席 数 (A) (席／日)	旅客数 (B) (人／日)	搭乗率 (B/A) (%)	回収数 (C) (票)	回収率 (C/B) (%)
日本航空グループ (JAL・JTA・JAC・RAC・J-AIR・HAC・JEX)	182,140	114,588	62.9%	73,232	63.9%	182,260	132,002	72.4%	92,460	70.0%
全日本空輸グループ (ANA・ANK・CRF・AKX・NXA)	192,517	123,866	64.3%	74,177	59.9%	193,270	141,647	73.3%	88,018	62.1%
新中央航空株式会社	301	155	51.5%	135	87.1%	380	189	49.7%	158	83.6%
オリエンタルエアブリッジ株式会社	1,287	508	39.5%	206	40.6%	1,287	622	48.3%	329	52.9%
東邦航空株式会社	90	53	58.9%	46	86.8%	90	47	52.2%	40	85.1%
旭伸航空株式会社	72	33	45.8%	33	100.0%	72	34	47.2%	33	97.1%
スカイマーク株式会社	13,191	8,415	63.8%	4,413	52.4%	13,191	10,410	78.9%	5,656	54.3%
北海道国際航空株式会社	7,598	3,998	52.6%	2,871	71.8%	7,598	4,999	65.8%	4,449	89.0%
IBEX エアラインズ株式会社	1,200	865	72.1%	612	70.8%	1,200	883	73.6%	722	81.8%
天草エアライン株式会社	546	264	48.4%	129	48.9%	546	248	45.4%	203	81.9%
スカイネットアジア航空株式会社	6,480	2,223	34.3%	1,976	88.9%	6,480	3,330	51.4%	2,554	76.7%
株式会社スターフライヤー	4,320	2,967	68.7%	2,305	77.7%	4,320	3,546	82.1%	2,800	79.0%
合 計	409,742	257,935	63.0%	160,135	62.1%	410,694	297,957	72.5%	197,422	66.3%

7 集計内容

本調査においては、次章の「1. 集計結果（平日）」及び「2. 集計結果（休日）」の表1～表15に示す各集計を行った。
各表の内容については、以下にまとめるとおりである。

なお、問8の回答に基づき、旅客の個人属性についての単純集計結果をまとめると、以下に示すとおりとなる。

単純集計結果（1）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男 性	77,911	64.9	80,813	52.1
	女 性	42,133	35.1	74,206	47.9
	(不 明)	40,091	-	42,403	-
	合 計	160,135	100.0	197,422	100.0
職業	役員・管理職	33,034	21.8	24,302	13.0
	会社員	58,786	38.9	69,755	37.4
	公務員	7,543	5.0	12,072	6.5
	農業・漁業	1,904	1.3	1,989	1.1
	商工・自営業	6,563	4.3	9,099	4.9
	自由業	4,467	3.0	6,854	3.7
	学生・生徒	6,049	4.0	11,938	6.4
	無職・その他	32,897	21.8	50,515	27.1
	(不 明)	8,892	-	10,898	-
	合 計	160,135	100.0	197,422	100.0

単純集計結果（２）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
年齢	14 歳以下	2,565	1.7	7,125	3.8
	15～19 歳	2,998	2.0	5,511	2.9
	20～24 歳	5,587	3.7	8,222	4.4
	25～29 歳	9,937	6.5	15,798	8.4
	30～34 歳	14,026	9.2	18,873	10.1
	35～39 歳	16,280	10.7	17,971	9.6
	40～44 歳	16,617	10.9	16,892	9.0
	45～49 歳	16,622	10.9	17,276	9.2
	50～54 歳	16,405	10.8	19,399	10.3
	55～59 歳	19,072	12.5	22,516	12.0
	60～64 歳	14,004	9.2	16,848	9.0
	65～69 歳	8,970	5.9	10,586	5.6
	70～74 歳	5,647	3.7	6,332	3.4
	75 歳以上	3,357	2.2	4,418	2.4
	(不 明)	8,048	-	9,655	-
	合 計	160,135	100.0	197,422	100.0
年 収 (税込み)	なし	17,962	12.7	32,497	18.8
	100 万円未満	6,251	4.4	10,064	5.8
	100～199 万円未満	6,731	4.8	10,933	6.3
	200～299 万円未満	10,139	7.2	15,527	9.0
	300～399 万円未満	12,321	8.7	18,334	10.6
	400～499 万円未満	11,601	8.2	15,488	9.0
	500～699 万円未満	21,586	15.3	23,133	13.4
	700～999 万円未満	26,228	18.6	22,646	13.1
	1000～1499 万円未満	19,008	13.4	15,200	8.8
	1500～1999 万円未満	4,792	3.4	4,167	2.4
	2000 万円以上	4,736	3.4	4,920	2.8
	(不 明)	18,780	-	24,513	-
	合 計	160,135	100.0	197,422	100.0

単純集計結果（３）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	14,250	9.9	18,641	10.6
	青森県	1,159	0.8	1,172	0.7
	岩手県	559	0.4	829	0.5
	宮城県	1,924	1.3	2,426	1.4
	秋田県	956	0.7	1,337	0.8
	山形県	710	0.5	993	0.6
	福島県	867	0.6	981	0.6
	茨城県	1,572	1.1	2,272	1.3
	栃木県	738	0.5	1,239	0.7
	群馬県	713	0.5	1,119	0.6
	埼玉県	6,038	4.2	7,642	4.3
	千葉県	7,510	5.2	9,100	5.2
	東京都	21,564	15.0	25,072	14.3
	神奈川県	11,413	7.9	13,373	7.6
	新潟県	1,022	0.7	1,166	0.7
	富山県	859	0.6	926	0.5
	石川県	1,414	1.0	1,734	1.0
	福井県	256	0.2	500	0.3
	山梨県	308	0.2	564	0.3
	長野県	602	0.4	865	0.5
	岐阜県	731	0.5	1,280	0.7
	静岡県	1,156	0.8	1,528	0.9
	愛知県	4,917	3.4	6,664	3.8
	三重県	865	0.6	1,133	0.6
	滋賀県	551	0.4	698	0.4

単純集計結果（４）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	京 都 府	1,592	1.1	1,978	1.1
	大 阪 府	10,104	7.0	11,246	6.4
	兵 庫 県	6,336	4.4	7,520	4.3
	奈 良 県	1,146	0.8	1,241	0.7
	和 歌 山 県	746	0.5	964	0.5
	鳥 取 県	581	0.4	713	0.4
	島 根 県	888	0.6	978	0.6
	岡 山 県	1,207	0.8	1,438	0.8
	広 島 県	2,647	1.8	2,785	1.6
	山 口 県	1,092	0.8	1,499	0.9
	徳 島 県	784	0.5	1,332	0.8
	香 川 県	1,262	0.9	1,241	0.7
	愛 媛 県	2,130	1.5	2,729	1.6
	高 知 県	1,197	0.8	1,093	0.6
	福 岡 県	9,928	6.9	11,788	6.7
	佐 賀 県	1,068	0.7	1,443	0.8
	長 崎 県	2,191	1.5	2,704	1.5
	熊 本 県	2,899	2.0	3,607	2.1
	大 分 県	1,766	1.2	2,076	1.2
	宮 崎 県	2,117	1.5	2,560	1.5
	鹿 児 島 県	3,559	2.5	4,429	2.5
	沖 縄 県	5,214	3.6	6,800	3.9
	海 外	513	0.4	458	0.3
	(不 明)	16,514	-	21,546	-
	合 計	160,135	100.0	197,422	100.0

表1 OD表（空港間純流動） [問1・問5－2]

表1は、各旅客の調査実施日における最初の出発空港と最後の到着空港（目的空港）間における流動について集計したものであり、純流動ベースの空港間OD表である。

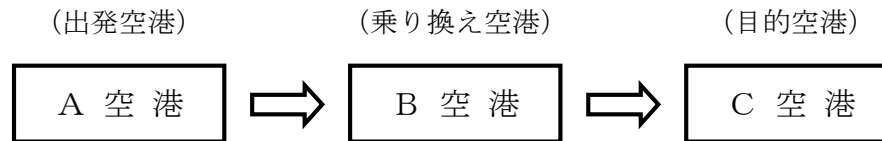
純流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地にかかわらず1トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A空港] → [C空港] のトリップを行った旅客として集計される。

したがって、純流動ベースのOD表においては、路線（直行便）が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例

（乗り換えを1回行った場合）



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

表2 OD表（空港間総流動） [問1・問5－2]

表2は、各路線における流動を集計したものであり、総流動ベースのOD表である。

総流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地の状況を考慮し、区間毎の流動を1トリップとして集計する流動である。

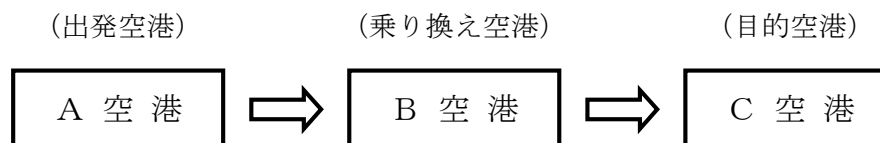
以下の例に示すとおり、A空港を出発し、B空港で乗り換えを行い、最終的にC空港に至った旅客は、[A空港] → [B空港] として1トリップ、[B空港] → [C空港] として1トリップの計2トリップが集計される。

したがって、総流動ベースのOD表では、原則として路線（直行便）が開設・運航されている空港間のみの流動量が集計される。

ただし、羽田⇄成田、伊丹⇄関西⇄神戸⇄伊丹、新千歳⇄丘珠、中部⇄小牧、広島⇄広島西 の区間については、地上交通機関を利用して当該区間を乗り継いだ旅客数を集計しており、表2の中では内数として括弧書きで示している。

例

（乗り換えを1回行った場合）



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

表3 OD表（県間流動） [問2・問5－1]

表3は、出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の観点から、都道府県間における流動を集計したものであり、純流動ベースのOD表である。

すなわち、ここでは、旅客がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空を利用したのかについて集計したものであり、したがって、出発地あるいは目的地となる都道府県は、出発空港あるいは目的空港が立地する都道府県とは、必ずしも一致しないことになる。

なお、出発地あるいは目的地については、国際線との乗り換えを行う場合は外国として集計され、無回答の場合は不明として集計される。

表4 空港別 出発地・目的地・現住所 [問1・問2・問5－1・問5－2・問8]

表4は、各空港における出発旅客の出発地、到着旅客の目的地、及びこれらの合計と、出発旅客及び到着旅客の現住所について集計したものである。

なお、ここでの、出発旅客、到着旅客とは、乗り換え旅客を含んでおらず、純流動ベースのOD集計結果（表1）から得られる各空港の発着旅客数に一致する。また、表4に示す市区町村は、平成19年12月1日時点の全国地方公共団体コード（総務省）に準じており、各空港の所在都道府県を最初に表示し、以降は全国地方公共団体コード順に示している。

例) 羽田空港 平日 表4 空港別 出発地・目的地・現住所 (単位：人)

地区名			出発旅客数（出発地）		% 到着旅客数（到着地）		% 合計（乗降旅客数）		% 乗降客の現住所	
東京都	特別区	千代田区	2,087	4.7	2,708	5.7	4,795	5.2	637	0.7
		中央区	1,542	3.5	1,943	4.1	3,485	3.8	756	0.9
		港区	2,594	5.8	3,524	7.4	6,118	6.6	1,140	1.3
		新宿区	1,201	2.7	1,371	2.9	2,572	2.8	691	0.8
		文京区	448	1.0	443	0.9	891	1.0	416	0.5

○出発旅客数（出発地）

- ・羽田空港の出発便に搭乗した旅客（羽田空港で乗り換えた旅客を除く）の出発地について、市区町村別に集計したものである。ここで出発地とは、調査当日の対象トリップにおいて羽田空港に向けて移動し始めた地点である。
- ・上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した旅客が2,087人であったことを示している。

※羽田空港を出発した旅客の到着地については、到着空港の表4における“到着旅客数（到着地）”に集計される。

○到着旅客数（到着地）

- ・羽田空港の到着便に搭乗していた旅客（羽田空港で乗り換える旅客を除く）の到着地について、市区町村別に集計したものである。ここで到着地とは、対象トリップの目的地を意味している。
- ・上記の例では、羽田空港で降機した後、千代田区を目的地として向かった旅客が2,708人であったことを示している。

※羽田空港に到着した旅客の出発地については、出発空港の表4における“出発旅客数（出発地）”に集計される。

○合計（乗降旅客数）

- ・出発旅客数（出発地）と到着旅客数（到着地）の合計値

○乗降客の現住所

- ・羽田空港を利用した旅客（羽田空港で乗り換えた旅客を除く）の現住所について、市区町村別に集計したものである。
- ・上記の例では、羽田空港利用者のうち、千代田区に現住所がある旅客が637人であったことを示している。

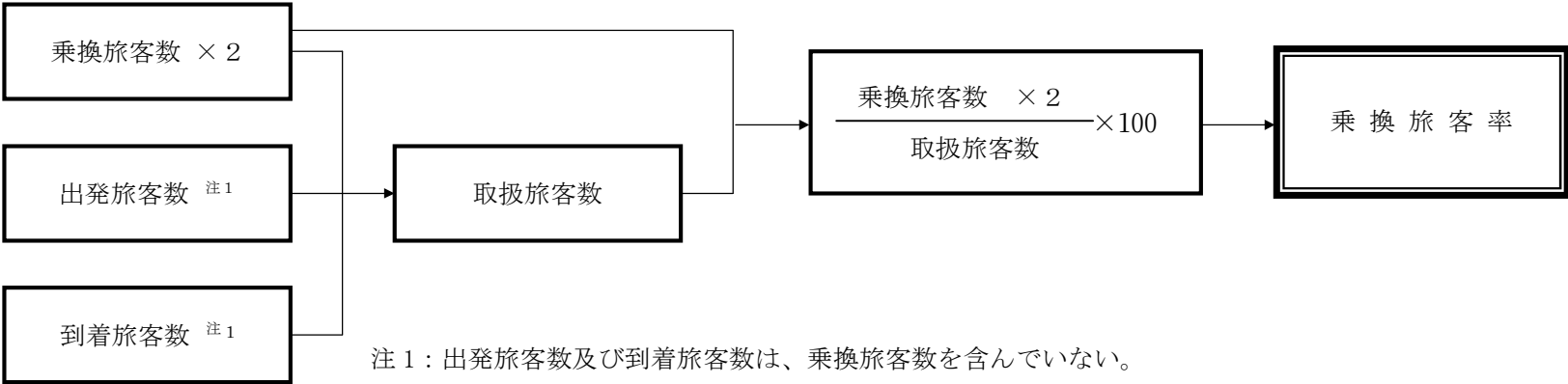
表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 [問1・問5－2]

表5は、各空港における純流動ベースでの出発旅客数と到着旅客数、及び当該空港で飛行機の乗り換えを行った旅客（乗換旅客数）について集計したものである。また、これらの数値を用いて、以下に示す方法で、乗換旅客がそれぞれの空港における取扱旅客数（出発旅客・到着旅客・乗換旅客の合計）に対し、どの程度の割合を占めているか（乗換旅客率）を算出している。

なお、乗換旅客数については、空港取扱い旅客の観点からみた場合、乗り換えのために空港に到着した時点で到着旅客として1人、その後、他の路線（便）で出発した時点で出発旅客として1人の延べ2人の旅客としてカウントする必要がある。このことから、ここでの計算過程においては、乗換旅客数を2倍することによって、取扱旅客数を計算している。

※表5の乗換旅客数の列には2倍する前の乗換旅客数（実人数）が入力されている。

（乗換旅客率の算出方法）



例) 平日 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数（単位：人）

空港名	出発旅客数	到着旅客数	合 計	乗換旅客数	取扱旅客数	乗換旅客率 %
稚 内	77	126	203	0	203	0.0
釧 路	668	711	1,379	0	1,379	0.0
函 館	1,537	1,667	3,204	12 注2	3,228	0.7
旭 川	848	975	1,823	0	1,823	0.0
帯 広	589	596	1,185	0	1,185	0.0

注2：函館空港において飛行機を乗り継いだ旅客数が12人であったことを示している。

函館空港の取扱旅客数＝出発旅客数（1,537人）＋到着旅客数（1,667人）＋乗換旅客数（12人）×2＝3,228人

<< 表 6 ～ 表 10 の集計対象 >>

表 6 ～表 10 は純流動ベースの空港間ODの集計表である。集計対象は、路線（直行便）が開設・運航されている空港間（平日：237 組、休日：235 組）と、開設・運航されている路線（直行便）はないながらも、純流動ベースによる空港間OD表（表 1）において往復合計で 20 以上のサンプル（回収票）があった空港間（平日：66 組、休日：90 組）であり、平日調査で 303 組、休日調査で 325 組のODペアが集計対象となる。

集計は純流動ベースであるため、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ODの集計においては、乗り換え経路の旅客が含まれている。例えば、福岡～新千歳路線の集計には直行便利用者の他、福岡～羽田～新千歳のように羽田空港等で乗り換えを行った旅客が含まれている。

また、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ODについては『航空輸送統計年報』の掲載順に集計結果を示しており、路線（直行便）が開設されていないODについては、以下のように優先順位を設定し集計結果を示している。

■路線（直行便）が開設されていない路線の表示に係る考え方（優先順位）

①羽田 ②成田 ③伊丹 ④関西 ⑤新千歳 ⑥中部 ⑦福岡 ⑧那覇 ⑦その他 *相手空港は空港コード順とする。

※直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプルがあったODペアは、次のとおりである。

直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプル（回収票）があったODペア

平日調査

羽田・成田	伊丹・関西	新千歳・中部・福岡・那覇	その他
羽 田－福 江 (43)	伊 丹－釧 路 (34)	新千歳－出 雲 (23)	釧 路－高 松 (27)
羽 田－対 馬 (31)	伊 丹－函 館 (55)	新千歳－山口宇部 (33)	函 館－高 松 (26)
羽 田－種子島 (33)	伊 丹－旭 川 (41)	新千歳－高 松 (38)	旭 川－鹿児島 (20)
羽 田－屋久島 (74)	伊 丹－帯 広 (65)	新千歳－松 山 (76)	帯 広－長 崎 (22)
羽 田－久米島 (20)	伊 丹－屋久島 (27)	新千歳－高 知 (41)	帯 広－大 分 (45)
成 田－帯 広 (27)	伊 丹－久米島 (93)	新千歳－長 崎 (65)	紋 別－高 知 (48)
成 田－秋 田 (26)	伊 丹－宮 古 (40)	新千歳－熊 本 (100)	女満別－松 山 (21)
成 田－富 山 (27)	伊 丹－石 垣 (40)	新千歳－大 分 (46)	女満別－鹿児島 (33)
成 田－松 山 (42)	関 西－稚 内 (26)	新千歳－宮 崎 (93)	青 森－北九州 (37)
成 田－長 崎 (22)		新千歳－鹿児島 (205)	青 森－熊 本 (29)
成 田－宮 崎 (26)		新千歳－石 垣 (47)	仙 台－鹿児島 (62)
成 田－鹿児島 (28)		中 部－屋久島 (28)	秋 田－広 島 (28)
		中 部－奄 美 (24)	山 形－出 雲 (30)
		中 部－宮 古 (78)	山 形－熊 本 (39)
		中 部－石 垣 (145)	新 潟－鹿児島 (20)
		福 岡－函 館 (30)	小 松－鹿児島 (29)
		福 岡－旭 川 (32)	神 戸－宮 古 (37)
		福 岡－帯 広 (29)	高 知－種子島 (29)
		福 岡－青 森 (57)	
		福 岡－三 沢 (27)	
		福 岡－秋 田 (25)	
		福 岡－奄 美 (22)	
		福 岡－宮 古 (32)	
		福 岡－石 垣 (143)	
		那 覇－函 館 (42)	
		那 覇－旭 川 (21)	
		那 覇－富 山 (31)	

※（ ）内の数値は、サンプル数を示す。

休日調査

羽田・成田	伊丹・関西	新千歳・中部・福岡・那覇	その他
羽 田－但 馬 (20)	伊 丹－釧 路 (66)	新千歳－鳥 取 (32)	函 館－小 松 (28)
羽 田－隠 岐 (38)	伊 丹－函 館 (93)	新千歳－米 子 (22)	函 館－能 登 (23)
羽 田－福 江 (51)	伊 丹－旭 川 (38)	新千歳－出 雲 (30)	函 館－広 島 (31)
羽 田－天 草 (26)	伊 丹－帯 広 (38)	新千歳－山口宇部 (45)	函 館－高 松 (20)
羽 田－種子島 (46)	伊 丹－女満別 (90)	新千歳－徳 島 (37)	函 館－鹿児島 (28)
羽 田－屋久島 (210)	伊 丹－対 馬 (29)	新千歳－高 松 (93)	旭 川－鹿児島 (22)
羽 田－与 論 (28)	伊 丹－屋久島 (82)	新千歳－松 山 (182)	中標津－神 戸 (26)
羽 田－久米島 (51)	伊 丹－徳之島 (33)	新千歳－高 知 (67)	中標津－岡 山 (23)
羽 田－与那国 (26)	伊 丹－久米島 (115)	新千歳－長 崎 (135)	青 森－広 島 (22)
成 田－旭 川 (29)	伊 丹－宮 古 (56)	新千歳－熊 本 (94)	青 森－山口宇部 (32)
成 田－帯 広 (21)	伊 丹－石 垣 (69)	新千歳－大 分 (127)	青 森－高 松 (23)
成 田－女満別 (21)		新千歳－宮 崎 (109)	青 森－松 山 (39)
成 田－青 森 (25)		新千歳－鹿児島 (324)	青 森－大 分 (20)
成 田－秋 田 (25)		新千歳－宮 古 (29)	青 森－鹿児島 (36)
成 田－富 山 (29)		新千歳－石 垣 (66)	仙 台－出 雲 (23)
成 田－関 西 (29)		中 部－福 江 (23)	仙 台－松 山 (23)
成 田－松 山 (22)		中 部－宮 古 (92)	仙 台－長 崎 (79)
成 田－高 知 (30)		中 部－石 垣 (200)	仙 台－鹿児島 (81)
成 田－鹿児島 (39)		福 岡－函 館 (37)	福 島－石 垣 (44)
		福 岡－青 森 (54)	大 島－鳥 取 (20)
		福 岡－秋 田 (35)	新 潟－石 垣 (24)
		福 岡－奄 美 (40)	小 松－石 垣 (71)
		福 岡－宮 古 (20)	神 戸－宮 古 (62)
		福 岡－石 垣 (159)	岡 山－石 垣 (24)
		那 覇－函 館 (35)	高 松－石 垣 (34)
		那 覇－旭 川 (27)	高 知－種子島 (34)
		那 覇－帯 広 (52)	
		那 覇－女満別 (27)	
		那 覇－青 森 (24)	
		那 覇－花 巻 (54)	
		那 覇－秋 田 (75)	
		那 覇－庄 内 (49)	
		那 覇－富 山 (25)	
		那 覇－出 雲 (20)	

※ () 内の数値は、サンプル数を示す。

表6 OD別 旅行目的 [問1・問5-2・問7-1]

表6は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅客の旅行目的を集計したものである。

表7 OD別 旅行日数 [問1・問5-2・問7-2]

表7は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅行日数を集計したものであり、日帰り以外の旅客については調査を受けた日が旅行中の何日目であるかについても集計した。

調査を受けた日（日帰り以外の旅客）の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 平日 表7 OD別 旅行日数 (単位：人)

O D 名	日帰り	旅行日数										不明	合計	調査を受けた日（日帰り以外の旅客）										不明	合計
		%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	5日以上			1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日目以上			
羽田-新千歳	1,295	10.2	4,703	37.2	3,744	29.6	1,257	9.9	1,636	12.9	473	13,108	4,734	52.0	1,583	17.4	1,592	17.5	494	5.4	694	7.6	2,716	11,813	
羽田-伊丹	2,378	31.4	2,949	38.9	1,439	19.0	432	5.7	387	5.1	191	7,776	2,311	56.0	1,038	25.2	496	12.0	133	3.2	146	3.5	1,274	5,398	
羽田-関西	686	25.5	859	31.9	615	22.8	178	6.6	354	13.2	108	2,800	914	57.8	267	16.9	193	12.2	65	4.1	141	8.9	534	2,114	
羽田-福岡	2,013	15.4	5,116	39.3	3,270	25.1	1,170	9.0	1,463	11.2	535	13,567	4,434	51.9	2,018	23.6	1,123	13.1	323	3.8	645	7.6	3,011	11,554	
羽田-那覇	218	3.6	859	14.3	2,535	42.1	1,541	25.6	874	14.5	304	6,331	2,190	50.0	293	6.7	948	21.6	581	13.3	371	8.5	1,730	6,113	

表8 OD別 旅行行程 [問1・問5-2・問7-3]

表8は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた復路（調査時点が復路の場合は往路）の利用交通機関の状況について集計したものである。

表 9－1 OD別 利用航空券の種類 [問 1・問 4－1・問 4－2・問 5－2]

表 9－2 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表 9－1 は、利用航空券の種類および座席の種類について、純流動ベースによる空港間ODペア別に集計したものであるが、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客は最初の区間の利用航空券の種類を集計している。

利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“回数券”、“マイレージ”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の 6 区分で集計している。その他割引運賃については、具体的な航空運賃の回答結果に基づき、平成 19 年 11 月の普通運賃に対する割引率を算出した上で、以下の集計表 9－2 の例に示すとおり 7 段階の幅で集計した。なお、普通運賃が複数存在する路線に関して、割引率の計算に用いる普通運賃は大手航空会社（JAL または ANA）の普通運賃としている。また、普通運賃が複数存在する路線は*で示している。

なお、具体的な航空運賃が未記入（割引率不明）であるサンプルが多くなっているが、表 9－2 において“その他割引（不明）”として集計している。

例) 平日 表 9－2 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）（単位：人）

O D 名		平成19年11月 普通運賃	その他割引 (0～10%)	% その他割引 (11～20%)	% その他割引 (21～30%)	割引率の内訳		% その他割引 (31～40%)	% その他割引 (41～50%)	% その他割引 (51～60%)	% その他割引 (61～)	% その他割引 (不明)	その他割引 合計					
羽 田－新千歳	*	30,700	79	4.2	129	6.9	83	4.4	34	1.8	580	30.9	721	38.4	253	13.5	1,624	3,503
羽 田－伊 丹		20,600	45	3.8	6	0.5	534	45.7	282	24.1	265	22.7	18	1.5	19	1.6	849	2,018
羽 田－関 西	*	20,600	13	1.7	9	1.2	112	14.6	129	16.9	132	17.3	363	47.5	7	0.9	256	1,021
羽 田－福 岡	*	33,700	59	2.4	70	2.8	81	3.3	131	5.3	710	28.6	1,000	40.3	433	17.4	1,860	4,344
羽 田－那 覇	*	37,400	10	2.2	37	8.1	13	2.8	11	2.4	62	13.5	219	47.7	107	23.3	381	840

表 9－3 路線別 利用航空券の種類 [問 1・問 4－1・問 4－2・問 5－2]

表 9－4 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表 9－3・表 9－4 は、表 9－1・表 9－2 について路線別に集計したものである。したがって、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客についても最初の区間のみを集計対象としている。

また、集計対象となる路線は直行便が開設・運航されている空港間のみとなり、表 9－1・表 9－2 の全ODペアと表 9－3・表 9－4 の全路線の合計件数は一致している。

表 10 OD別 乗り換え空港 [問 1・問 5－2]

表 10 は、純流動ベースによる空港間ODペアについて、直行便の利用者と他空港で乗り換えを行った旅客に分けて、その内訳を集計したものであり、特に、乗り換えを行った旅客が利用した空港（乗り換え空港）については、上位 3 空港を抽出し、それぞれにおける乗り換え旅客数を集計した。

羽田⇄成田、伊丹⇄関西⇄神戸⇄伊丹、新千歳⇄丘珠、中部⇄小牧、広島⇄広島西 の区間は、乗り換え経路として対象としている。

表 11 出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無 [問 1・問 3－1・問 3－5・問 5－2・問 6]

表 11 は、各出発空港において出発旅客が空港到着時に利用した交通手段（最終アクセス手段）と、各到着空港において到着旅客が目的空港到着後に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計したものである。また最終アクセス手段が“自家用車”の旅客については、駐車場利用の有無について“空港内（空港内の駐車場を利用した）”、“近辺（空港外の近くの駐車場を利用した）”、“無し（同乗者が乗って帰ったため、駐車場の利用無し）”の 3 区分で集計を行った。

表 12 出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数 [問 1・問 3－1・問 3－2]

表 12 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、空港アクセスに際して行った交通機関の乗り換え回数について集計したものである。

表 13 出発空港別 アクセス経費 [問 1・問 3－3]

表 13 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。

※アクセス経費の集計には自家用車利用者も含まれている。

表 14 出発空港別 見送り人数・空港滞留時間 [問 1・問 3－4・問 7－5・問 7－6]

表 14 は、各空港における出発旅客 1 人当たりの見送り人数と、出発旅客が出発空港に到着してから搭乗した航空機が出発するまでターミナルビル内にいた時間（空港滞留時間）について集計したものである。旅客 1 人当たり見送り人数の算出方法は、以下に示すとおりである。また、空港滞留時間とは、旅客が航空機の出発時刻の何分前に空港に到着したかを示している。

（1 人当たり見送り人数の算出方法）



注：同行者数には本人を含む。

表 15－1 空港間移動の手段 [問 1・問 2・問 3－1・問 5－1・問 5－2・問 6]

表 15－2 空港間移動の所要時間 [問 1・問 2・問 3－2・問 5－1・問 5－2]

表 15－3 空港間移動の経費 [問 1・問 2・問 3－3・問 5－1・問 5－2]

表 15 は、成田空港、関西空港、中部空港より国際線を利用した（利用する）旅客（出発地あるいは目的地が“海外”の旅客）について、羽田⇄成田、伊丹⇄関西⇄神戸⇄伊丹、中部⇄小牧 の空港間の移動に関する「最終アクセス・最初イグレス手段」、各空港間における「所要時間」・「経費」について集計したものである。

表 15－1 の集計項目において集計対象としている行程及びその交通手段のカラムは以下の通りである。また表 15－2、表 15－3 において集計している「所要時間」・「経費」に関する設問は、空港アクセスに関する設問であるため、下表の印（●、○、■、□）のついた行程のみが集計対象となる。

表15－1				表15－2・表15－3	
集計項目	行程		空港間移動の手段 の集計対象カラム	集計項目	空港間移動の所要時間 ・費用の集計対象
	→ 集計対象	⇒ 調査区間（国内線）			
① 海外→成田→羽田→国内各地	羽田最終アクセス	海外→成田→（地上交通機関）→羽田⇒国内各地	アクセス（5）	羽田－成田	●
② 国内各地→羽田→成田→海外	羽田最初イグレス	国内各地⇒羽田→（地上交通機関）→成田→海外	イグレス（1）		
③ 国内各地→羽田→成田→海外	成田最終アクセス	国内各地⇒羽田→（地上交通機関）→成田→海外	最後イグレス		
④ 海外→成田→羽田→国内各地	成田最初イグレス	海外→成田→（地上交通機関）→羽田⇒国内各地	最初アクセス	羽田－成田	●
⑤ 海外→関西→伊丹→国内各地	伊丹最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）→伊丹⇒国内各地	アクセス（5）	伊丹－関西	○
⑥ 国内各地→伊丹→関西→海外	伊丹最初イグレス	国内各地⇒伊丹→（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（1）		
⑦ 国内各地→伊丹→関西→海外	関西最終アクセス	国内各地⇒伊丹→（地上交通機関）→関西→海外	最後イグレス		
⑧ 海外→関西→伊丹→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→（地上交通機関）→伊丹⇒国内各地	最初アクセス	伊丹－関西	○
⑨ 海外→関西→神戸→国内各地	神戸最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）→神戸⇒国内各地	アクセス（5）	神戸－関西	■
⑩ 国内各地→神戸→関西→海外	神戸最初イグレス	国内各地⇒神戸→（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（1）		
⑪ 国内各地→神戸→関西→海外	関西最終アクセス	国内各地⇒神戸→（地上交通機関）→関西→海外	最後イグレス		
⑫ 海外→関西→神戸→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→（地上交通機関）→神戸⇒国内各地	最初アクセス	神戸－関西	■
⑬ 海外→中部→小牧→国内各地	小牧最終アクセス	海外→中部→（地上交通機関）→小牧⇒国内各地	アクセス（5）	小牧－中部	□
⑭ 国内各地→小牧→中部→海外	小牧最初イグレス	国内各地⇒小牧→（地上交通機関）→中部→海外	イグレス（1）		
⑮ 国内各地→小牧→中部→海外	中部最終アクセス	国内各地⇒小牧→（地上交通機関）→中部→海外	最後イグレス		
⑯ 海外→中部→小牧→国内各地	中部最初イグレス	海外→中部→（地上交通機関）→小牧⇒国内各地	最初アクセス	小牧－中部	□

※①と④、⑤と⑧、⑨と⑫、⑬と⑯は同じ行程であり、これらの行程を対象とし表 15-2、表 15-3 において空港間移動の所要時間・費用の集計を行っている。